

がんの脅威に立ち向かえ。

CANCER RESEARCH EARLY EXPOSURE PROGRAM

がん研究早期体験プログラム

がん研 EEP 授業編『生命科学・医学研究の最先端と未来』

2022年8月5日

会場：ナノ生命科学研究所 4F Main Conference Room
(金沢大学角間キャンパス)

受付：13:00 から

【スケジュール】

13:30 開会あいさつ

がん研 EEP 実行委員長・平尾敦

13:40-14:30 1 限目「がんの転移・治療薬耐性のリアル！～症例検討会によろこそ～」

金沢大学医薬保健研究域医学系 / がん進展制御研究所 / ナノ生命科学研究所・矢野聖二

14:30-14:40 休憩

14:40-15:30 2 限目「原子間力顕微鏡が切り拓くナノ生命科学」

金沢大学ナノ生命科学研究所・柴田幹大

15:30-15:40 休憩

15:40-16:30 3 限目「AI・ビッグデータが拓く医療の未来」

京都大学大学院医学研究科 / 理化学研究所計算科学研究センター・奥野恭史

16:30 閉会あいさつ

金沢大学がん進展制御研究所 所長・松本邦夫



<http://ganken.cri.kanazawa-u.ac.jp/graduate/gankeneep/>

【講師紹介】

矢野 聖二 (やの せいじ)

金沢大学医薬保健研究域医学系呼吸器内科学・教授

がん進展制御研究所・副所長

ナノ生命科学研究所・教授



矢野聖二先生は、金沢大学附属病院にて呼吸器および腫瘍内科医として、日々、がん医療に携わるとともに、がんの本態解明に向けた基礎的な研究を精力的に推進している我が国を代表するがん研究者です。セミナーでは、がんゲノム医療が現実のものとなりつつある今日の診療現場や実際のがん患者の症例を（模擬的に）紹介いただきながら、その問題克服のための研究や取り組みについて講演いただきます。

柴田 幹大 (しばた みきひろ)

金沢大学ナノ生命科学研究所・教授



柴田幹大先生は、高速原子間力顕微鏡を用いて、生命原理の解明に取り組む新進気鋭の生命学者です。原子間力顕微鏡とは、高速で探針を走査することで原子や分子の動きを可視化できる、金沢大学が世界に誇る顕微鏡です。セミナーでは、高速原子間力顕微鏡を用いた研究により明らかにされつつある、ナノスケールで生じる生命現象を紹介いただき、真理の探究の醍醐味についてご講演いただきます。

奥野 恭史 (おくの やすし)

京都大学大学院医学研究科・教授

理化学研究所計算科学研究センター

HPC / AI 駆動型医薬プラットフォーム・部門長



奥野恭史先生は、臨床データを用いた医療ビッグデータ解析、スーパーコンピュータ「富岳」を用いた分子シミュレーションに基づく創薬システムの開発、新薬を生み出すための製剤設計AIの開発など、AI・ビッグデータ医科学分野の第一人者です。セミナーでは、医療と創薬への応用を主眼とした情報科学の最前線、それらが切り拓く医療の未来についてご講演いただきます。